



放置自転車で国際貢献

AMD Aへ 市が20台寄贈 医療活動に活用

放置自転車で国際貢献。岡山市は二十二日、途上国を支援するNPO法人・AMD A社会開発機構（同市北区蕃山町）に自転車二十台を寄贈すると発表した。AMD Aが活動するザンビア共和国ルサカ市の患者宅への訪問などで活用する。

ルサカ市は道路や水道が発達していない上に衛生状態が悪く、結核やエイズ、コレラがまん延。AMD Aは一九九八年から、現地で医療ボランティアを育てながら患者を家庭訪問し、投薬や衛生指導を行っている。

しかし現地では移動手段が少なく、五〜十キロ離れた患者のもとにも歩いて訪問。AMD Aが昨年八月、市に自転車の寄贈を要望したところ、市は放置されて撤去した自転車のうち、持ち主が現れなかった二十台を贈ることにした。

「機動力が格段に高まり本当に助かる。多くの命が助かるはずだ」と同機構の山上正道国内連携事業部チーフ長。岡山市街路交通課も「放置自転車を国際貢献に使うのは初めて。現地で有効に活用してもらいたい」と話している。（新居田崇）

式を行い、AMD Aは今月中にもルサカ市向けに輸送。今秋から現地での医療活動に活用する。